

E Z - W I N競馬予想新聞				24.3.2 (土) 阪神11R G2チューリップ賞 芝1600m外A 3歳牝馬 馬齢 15 : 35														指数					
間隔	総合評価点数	予想印	馬番	馬名	性別	負担重量	予想人気	相対指数	注目血統	最終調教評価	馬喰調教評価	脚質前走	脚質2前	脚質3前	血統・人気複率	血統複勝回収値	前距離複率	騎手	調教師	前走不利	好走傾向合致	マイニング	対戦型
4	37	×	1	栗)ブルーアيدガール	牝3	55	13	C	注		B	4,8	9,1		2	87	1	松山弘	吉岡辰			3	8
8	44	○	2	栗)ラーンザロープス	牝3	55	7	B	注			3,6	7,1	3,1	7	87	8	横山典	武幸四		B	10	4
5	38		3	栗)エポックヴィーナス	牝3	55	15			D	A	7,2	12,1	9,7	5	278	1	和田竜	新谷功			11	12
7	61	×	4	栗)ワイドラトゥール	牝3	55	5	A	△	C+	B	6,1	18,1	6,1	50	65	11	北村友	藤原英		B	5	7
7	47	×	5	美)ミラピリスマジック	牝3	55	2					6,1	4,3		48	96	43	田辺裕	国枝栄			2	15
4	37	×	6	栗)スウィープフィート	牝3	55	6	B		C		4,4	17,6	9,1	18	52	22	武豊	庄野靖		注	8	12
5	29		7	栗)フルレゾン	牝3	55	9		注			除外	7,7	10,1	10	93	8	鮫島克	池添学			13	2
7	56	×	8	栗)セキトバイースト	牝3	55	10	B			B	6,2	5,5	6,1	15	97	5	藤岡佑	四位洋		B	15	1
8	51	×	9	美)スティールブルー	牝3	55	3	B			AA	10,3	3,5	8,1	24	53	22	川田将	宗像			1	5
14	37	▲	10	美)ガルサブランカ	牝3	55	4	C	血			4,2	3,1		17	67	22	C. ル	木村哲		注	6	9
3	39		11	栗)ハワイアンティアレ	牝3	55	12		△		B	5,1	14,1		2	25	1	西村淳	松永幹		C	9	10
18	26	×	12	栗)ショウナンマヌエラ	牝3	55	11			D		1,8	1,8	1,4	0	25	8	石橋脩	高野友			12	14
8	60	×	13	栗)エラトー	牝3	55	8		血	D	B	1,3	1,5	5,3	7	87	8	B. ム	上村洋			7	11
3	60	★	14	栗)ラヴァンダ	牝3	55	14		血	▲	A	2,3	7,5	9,1	5	196	1	松若風	中村直		注	14	6
2	9		15	栗)イツモニコニコ	牝3	55	16		△			10,7	15,12	1,8	0	0	3	田中健	浜田多			16	16
11	62	◎	16	栗)タガノエルピーダ	牝3	55	1	A	注	▲	A	3,7	3,1		48	96	43	岡野大	斉藤崇	展	A	4	3

【レースの好走傾向】

・チューリップ賞の注目血統は

- 1.「父:サンデー系×母父:大系統ノーザンダンサー系」
- 2.「父:大系統サンデー系×母父:大系統ミスプロ系」

特に、サンデー系と欧州型ND系・ダンチヒ系の配合が【複勝率40%／複回率108%】で期待値が高い配合となっております。

・脚質的には「前有利傾向」があるレースで、同距離ローテなら前走で中団より前で競馬している馬。

距離延長ローテの場合は、中団以降からメンバー上位の末脚を使っていた馬が、距離が伸びて追走が楽になり前走で届かなかった末脚が届くと言うパターンに注意。ですが、今年は該当馬はおりません。

その他の好走傾向は、無料メルマガで配信した「チューリップ賞過去データ」のファイルをご参照願います。

・基本的に順当な結果になりやすいレースで、前走がG1だった馬が1人気に支持された場合は

【勝率66.7%／複勝率83.3%】と堅実に走りますから、無理に逆らうのは慎みたいレース。

枠番は1枠と8枠の「極端枠」が有利な傾向があります。

【予想見解】

◎16番タガノエルピーダ

父:キズナ(ディープ系)

母父:キングカメハメハ(大系統ミスプロ系)

兄弟馬達は2歳秋から3歳春にかけての重賞で活躍しており、女だてらにG1朝日杯で好走した本馬は、一家の稼ぎ頭になる可能性も。

その朝日杯3着は、馬場傾向・展開ともに差し有利で、先行した馬の中では本馬が最先着しておりました。

○2番ランザロース

父:キズナ(ディープ系)

母父:米ストームバード系

母はアルゼンチンの2歳G1(1600m)を2勝。

前走のG3シンザン記念は、外差し有利馬場を
内から先行しての惜敗で、内前有利馬場であったなら
勝ち負けになっていたと思わせる内容でした。

例年通りの内前有利馬場であれば、
牝馬同士のここでは前走以上の結果も。

▲10番ガルサブランカ

父:キズナ(ディープ系)

母父:キングハイロー(欧リファール系)

イクイノックスの半妹

関東馬ですが1週前から栗東に入厩。
ルメール殿が同じシルクレーシングのスティールブルーを
降りてこちらの継続騎乗を選択しております。

若駒時代の兄と同じく、馬体は華奢ですが、
ペラペラの馬体でも能力を発揮できるタイプかも。

★14番ラヴァンダ

父:シルバーステート(ディープ系)

母父:ダンチヒ系

祖母はチューリップ賞(内回り時代)2着のゴッドインチーフ。

前走は距離延長を克服して朝日杯好走馬のタガノデュードに先着。

シルバーステート産駒は内回りの方が走る傾向があり、
今回初めての外回りコースになりますが・・・

祖母がエルフィンSで8馬身差の圧勝を収めたのは
外回りの1600m戦でした。

祖母の遺伝を受けていれば、
上位争いの一角に加わって来る可能性はあります。

【馬券】

EZ-WIN 推奨馬券

馬連・ワイド・3連複4頭ボックス

4番・13番・14番・16番

くまもん馬券

馬連 16-2・10・14・

ワイドフォーメーション5点
2・14-2・10・14・16

3連複フォーメーション27点
16-2・10・14-印全頭